

熊本県の新たな社員向け集合住居「八代ハウス」の運用を開始

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 秀充）は、4月1日から、九州製造所（熊本県八代市）の旧社員寮の敷地にて、新たな社員向け集合住居「八代ハウス」の運用を開始します。

「八代ハウス」は、1975年に建設された社員寮の老朽化による建て替えに際し、これまでの“社員寮”という概念にとらわれず、プライベート空間を確保しながら共有スペースも備えた新たな社員向け集合住居として建設しました。



「八代ハウス」のコンセプトは、居住者が集う“大きな家”。九州製造所に勤務する社員たちが、“先輩・同僚・後輩と大きな夢と小さな悩みを語りあう場所”、“社会人としてのルールや、自社の企業理念を気付かせてくれる場所”、“疲れた体と心を癒してくれる、ほっとする安らぎの場所”という3つの思いが込められています。

建物は“地域に開き、この場に暮らす、ミニマムな長屋の創造”を目指し、共有部分を外部に有した**低層（2階）の長屋形式の建物スタイル住戸（36室）**構成とし、バリアフリー対応の部屋も2室設けました。また、**中央に光井戸（※1）を有することで光と風を取り込む形状**を採用し、光井戸と開放廊下の2面採光によって、部屋全体に自然光が廻るほか、自然換気を促進します。

また、YKK AP の樹脂窓「APW 330」、アルミインテリア建材「スクリーンパーティション」、手すりのほか、玄関ドアには顔認証キーでハンズフリーな鍵の施解錠ができる断熱スライディングドア「コンコード S30」を採用し、高い断熱性（※2）と利便性で、快適な暮らしを実現します。



「八代ハウス」では、建物に使用している YKK AP 商品について、入居者の協力のもと「生活者検証」を行うことを予定しています。集合住宅として運用するだけでなく、実際の生活環境の中で得た意見を、今後の商品開発に役立てます。

※1：内部空間に採光するために、吹き抜けや中庭を作るなどして、建物内部に直接採光を取り入れる空間のこと

※2：建物全体（共用部含む）の外皮平均熱貫流率（UA 値）0.48（ZEH-M Oriented 基準に適合した建物）

<「八代ハウス」概要>

所在地	熊本県八代市郡築一番町 185 番地 1
建築用途	単身者用住居（36 室）※男女共用
構造 / 規模	鉄筋コンクリート造 / 2 階建て（高さ 7.5m）
敷地面積	16,223 m ² （4,907 坪）
延床面積	1043.04 m ² （458.2 坪）
着工 / 竣工	2021 年 4 月 / 2022 年 3 月
設計・施工	株式会社竹中工務店
総事業費	5.3 億円